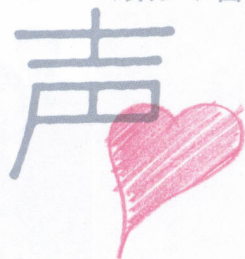


家族プラン加入者の



千の風になって _____ 野口由紀子 (新潟県)

私がハートリンクを知ったのは、次男が小児がんで入院中の病院に掲示してあったポスターでした。治ったら連絡をしてみようと思っていましたが、次男は闘病9ヶ月後、残念ながら病気を治すことができず十歳で一人旅立ちました。

私はハートリンクの事務局がある新潟市内に住んでいます。次男を亡くし、言葉に表せないほどの悲しみや苦しみを抱えて過ごしていました。そんな時にふとハートリンクのことを思い出し、代表の林さんにメールをしたのです。

「会って話をしませんか?」と返事をくださり、よく知らないはずの私の話を聞いてくれ、息子の話に涙を流してくださいました。そしてその時にハートリンクの話も聞くことができました。小児がん経験者は治っても保険に入ることが難しい現実。林さんはこう言っていました。「それを嘆いていても仕方がないから、それならば自分が動いて自分で作ったほうがいいかと思って…」凄くポジティブな考えの方だなと感心し、その出会いの日は林さんからパワーをたくさんもらうことができた貴重な日でした。

その当時の私は家族を、仕事や学校に送り出し、生活をしていくだけで精いっぱいでした。息子を亡くしても親である私は生きている。そんな自分が嫌になる時もありました。

「こんなお母さんでは、あんなに頑張っていた次男にあきれられちゃう」

林さんに会い自分の今までのネガティブな思いをどうにかしなくてはと感じ、現在どこかで頑張っている小児がんの子供たちやそのご家族の力に少しでもなれるならと主人と家族プランに加入しました。もしかしたら自己満足なのかもしれませんが、それでも少しの一步を踏み出すきっかけになったのがこのハートリンクでした。

息子を亡くした過去は変えることはできません。でもその過去の上に立ち、向き合い、自分にできることを少しずつ行動しながら進んで行けたらと思っています。

きっと小児がん経験者やそのまわりにいる方たちも同じように目標や希望を持っているのではないのでしょうか。そんな方たちを応援しているハートリンクの存在や意味がもっともっとたくさんの方に知ってもらえるよう願っています。願いは未来につながっていると私は信じていまから。

お知らせ

- ◎ H21年11月27日～29日 東京ベイホテル東急
第51回日本小児血液学会
第25回日本小児がん学会
第7回日本小児がん看護学会
第14回財団法人がんの子供を守る会公開シンポジウム
- ◎ H21年12月26日(17:00～) 朱鷺メッセ新潟
ゴールドリボン小児がんクリスマスチャリティコンサート
出演:らんねん・ブルーハーツ
- ◎ H22年2月21日(13:00～) 聖路加国際病院
公開シンポジウム「小児がんまたは若いがん患者を持つ家族への支援はどうか」
小児がん長期生存者を対象とした民間保険加入に関する研究
講師:細谷亮太先生(聖路加国際病院副院長)
- ◎ H22年公開シンポジウム開催予定(東京)



ハートリンクテーマソング「そらになろう」
歌:らんねん